

## 建築学科 進級基準

(コース共通)

1. **第1学年から第2学年に進級するためには**、第1学年で配当された「共通教養科目」、「外国語科目」、「基礎科目」、「専門科目」の中から**26単位**以上を修得していなければならない。
2. **第2学年から第3学年に進級するためには**、第1学年および第2学年で配当された「共通教養科目」、「外国語科目」、「基礎科目」、「専門科目」の中から**60単位**以上を修得していなければならない。
3. **第3学年から第4学年に進級するためには**、次の条件を満たしたうえで**総計106単位**以上を修得していなければならない。

① 共通教養科目から .....	<b>14単位</b>
② 外国語科目から .....	<b>12単位</b>
③ 基礎科目から .....	<b>10単位</b>
④ 専門科目から .....	<b>70単位</b>

## 建築学科 卒業の要件

建築学科を卒業するためには、理工学部 卒業の要件の単位数（理工学部履修要項、卒業の要件15ページ記載）と下表に示す建築学科 卒業の要件の必要単位数をいずれも満足しなければならない。

建築学科 卒業の要件に対する必要単位数は学部共通教養科目（人文科学・社会科学・語学科目群と数学・自然科学・情報技術科目群）と専門科目（数学・自然科学・情報技術科目群、共通専門科目群、コース別専門科目群）があり、それぞれ下記に示す系列の「必要単位数」以上を修得しなければならない。なお、科目群および系列の科目名は次ページ以降に示す。

### 建築学科卒業に要する必要単位数

		科目群名	系列	必要単位数	
学部共通科目	共通	I. 人文科学・社会科学・語学科目群	人文科学・社会科学	10	
			語学	14	
専門科目	共通	II. 数学・自然科学・情報技術科目群	数学・自然科学・情報技術	12	
				8	
		III. 共通専門科目群	設計・計画	7	
			住宅・都市・歴史	12	
			構造力学	6	
			一般構造	6	
			生産	6	
			環境	4	
	設備		2		
	技術者倫理・建築法規	4			
	建築システムコース	IV. コース別専門科目群	講義科目	設計・計画	6
				住宅・都市・歴史	
				構造力学	
				一般構造	
				生産	
環境					
IV. コース別専門科目群		実験実習演習科目	設計・計画	6	
			住宅・都市・歴史		
			構造力学		
			一般構造		
			生産		
			環境		
建築デザインコース	IV. コース別専門科目群	講義科目	設計・計画	8	
			住宅・都市・歴史		
			構造力学		
			一般構造		
			生産		
			環境		
	IV. コース別専門科目群	実験実習演習科目	設計・計画	12	
			住宅・都市・歴史		
			構造力学		
			一般構造		
			生産		
			環境		
	設備	3			
	ゼミナール等		6		

# 建築学科 卒業の要件

## 1. 人文科学・社会科学・語学科目および数学・自然科学・情報技術科目

下表は学部共通科目と基礎および専門科目（人文科学・社会科学・語学科目群および数学・自然科学・情報技術科目群）について示したものである。表中の数値は各科目群の必要最小単位数および各科目の単位数を示す。

必要単位数	I. 人文科学・社会科学・語学科目群					II. 数学・自然科学・情報技術科目群					
	10単位以上		14単位以上			12単位以上			8単位以上		
	人文・社会の一般的知識を養う		語学能力、コミュニケーション能力を養う			数学・自然科学・情報処理の基礎を身につける					
系列 セメスター	人文科学・社会科学		語学			基礎科目より			教養・専門科目より		
	授業科目	単位数 領域	授業科目	単位数 領域	授業科目	単位数 領域	授業科目	単位数 領域			
1, 2	現代社会と法	2 教養	英語演習 1	2 教養	基礎物理学および演習	3 基礎	基礎ゼミ 1	2 教養			
	国際化と異文化理解	2 教養	英語演習 2	2 教養	物理学および演習	3 基礎	基礎ゼミ 2	2 教養			
	国際経済と企業の国際化	2 教養	オールイングリッシュ 1	1 教養	基礎化学および演習	3 基礎					
	国際社会と日本	2 教養	オールイングリッシュ 2	1 教養	化学	2 基礎					
	ビジネスモデルとマネジメント	2 教養	ドイツ語総合 1	1 教養	基礎生物学	2 基礎					
	日本語の技法	2 教養	ドイツ語総合 2	1 教養	生物学	2 基礎					
	健康とスポーツの科学	2 教養	フランス語総合 1	1 教養	微分積分学 I	2 基礎					
	生涯スポーツ 1	1 教養	フランス語総合 2	1 教養	微分積分学 II	2 基礎					
	生涯スポーツ 2	1 教養	中国語総合 1	1 教養	線形代数 I	2 基礎					
	食生活と健康	2 教養	中国語総合 2	1 教養	線形代数 II	2 基礎					
	技術と倫理	2 教養	韓国語総合 1	1 教養	情報処理基礎	1 基礎					
	環境と社会	2 教養	韓国語総合 2	1 教養	情報処理実習 I	1 基礎					
					情報システム基礎	2 基礎					
					情報システム応用	2 基礎					
				初級シミュレーション技術論	1 基礎						
3, 4	暮らしのなかの憲法	2 教養	英語演習 3	1 教養	情報処理演習	1 基礎	3D・CAD演習	2 専門			
	人権と社会 1	2 教養	英語演習 4	1 教養	情報処理実習 II	1 基礎					
	人権と社会 2	2 教養	オールイングリッシュ 3	1 教養							
	住みよい社会と福祉	2 教養	オールイングリッシュ 4	1 教養							
	資源とエネルギー	2 教養	ライティング A	1 教養							
			ライティング B	1 教養							
			留学英語 A	1 教養							
			留学英語 B	1 教養							
			時事英語 A	1 教養							
			時事英語 B	1 教養							
			TOEFL A	1 教養							
			TOEFL B	1 教養							
			ドイツ語総合 3	1 教養							
			ドイツ語総合 4	1 教養							
		フランス語総合 3	1 教養								
		フランス語総合 4	1 教養								
		中国語総合 3	1 教養								
		中国語総合 4	1 教養								
		韓国語総合 3	1 教養								
		韓国語総合 4	1 教養								
5, 6	企業倫理と知的財産	2 教養	TOEIC 1	1 教養			2D・CAD演習	2 専門			
	メディアの読み方	2 教養	TOEIC 2	1 教養			建築応用数学	2 専門			
	科学的問題解決法	2 教養	TOEIC 3	1 教養							
	プレゼンテーション技術	2 教養	TOEIC 4	1 教養							
	キャリアデザイン(*)	1 教養	アドバンスト TOEIC A	1 教養							
			アドバンスト TOEIC B	1 教養							
			イングリッシュスペシャルスタディーズ A	1 教養							
			イングリッシュスペシャルスタディーズ B	1 教養							
			イングリッシュカルチャーセミナー A	1 教養							
			イングリッシュカルチャーセミナー B	1 教養							
			専門英語 1	1 教養							
			専門英語 2	1 教養							
		インターネットイングリッシュ A	1 専門								
		インターネットイングリッシュ B	1 専門								
		アドバンストオールイングリッシュ	2 教養								

- 注：1. 基礎ゼミ、情報処理基礎、建築技術と社会・自然は必修科目である。  
 2. 科目の右欄にある「教養」は理工学部の共通教養科目、「基礎」は建築学科の基礎科目、「専門」は建築学科の専門科目である。  
 3. 第二外国語の発展科目（履修要項参照）を修得した場合については人文科学・社会科学・語学科目群の科目とする。  
 4. (\*)は、集中講義科目である。

2-1. 建築システムコース専門科目

下表は、建築システムコースの専門科目(共通専門科目群とコース別専門科目群)について示したものである。

表中の数値は各科目群の必要最小単位数および各科目の単位数を示す。

Ⅲ. 「共通専門科目群」 47単位以上																
系列	設計・計画		住宅・都市・歴史		構造力学		一般構造		生産		環境		設備		技術者倫理・建築法規	
	7単位以上		12単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		4単位以上		2単位以上		4単位以上	
必要単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
1	図学	2	建築概論	2	静定構造力学Ⅰ	2	建築構法	2								
2	基礎製図学及び演習	2			静定構造力学Ⅱ	2	木質系構法	2			環境工学概論	2			建築技術と社会・自然	2
3	設計製図Ⅰ	3	住宅計画	2	不静定構造力学Ⅰ	2	防災工学	2			音・光環境	2				
			アーバンデザイン	2												
			西洋建築史	2												
			建築計画総論	2												
4	設計製図Ⅱ	3	現代ハウジング	2	不静定構造力学Ⅱ	2			建築材料Ⅰ	2	熱・空気環境	2				
			現代都市計画	2												
			近代建築史	2												
5							構造計画	2	建築材料Ⅱ	2			建築設備概論	2		
									建築生産システム	2						
6									建築施工	2			建築設備各論	2	建築行政	2

Ⅳ. 「コース別専門科目群」 33単位以上																
講義科目																
系列	設計・計画		住宅・都市・歴史		構造力学		一般構造		生産		環境		設備		共通	
	6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上	
必要単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
4	建築計画各論	2														
5	建築デザイン論	2	人間工学	2			コンクリート構造	2			応用環境工学	2				
			都市・都市計画史	2			鋼構造	2								
			日本建築史	2			建築基礎構造	2								
6							建築耐震工学	2			環境システム工学	2				
							コンクリート構造応用	2								
							鋼構造応用	2								
7, 8			居住環境管理論	2					リフォーム工学	2			環境設備計画	2		
実験・実習・演習科目																
系列	設計・計画		住宅・都市・歴史		構造力学		一般構造		生産		環境		設備		ゼミナール等	
	6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上	
必要単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
1	造形演習	2			静定構造力学演習	1										
2					静定構造力学演習	1										
3					不静定構造力学演習	1										
4	建築計画及び演習	2			不静定構造力学演習	1										
5	設計演習Ⅰ	2	都市計画及び演習	2					材料実験	2	環境及び演習	2				
	設計演習Ⅱ	2														
6	設計演習Ⅲ	2					構造実験	2			環境実験	2		ゼミナール演習	2	
	設計演習Ⅳ	2					構造及び演習	2								
7, 8	設計演習Ⅴ	2							測量学・実習	2				卒業研究・卒業設計	4	

注：1 編入学等で修得した科目は、本学科の科目に読みかえてカウントする。読みかえできない科目は、その都度判断する。

2 共通専門科目群の各系列で履修単位数が必要単位数を超えた場合には、各系列2単位(講義科目)に限り、合計6単位まではコース別専門科目群の同一分野の履修科目と認める。

2-2. 建築デザインコース専門科目

下表は、建築デザインコースの専門科目(共通専門科目群とコース別専門科目群)について示したものである。

表中の数値は各科目群の必要最小単位数および各科目の単位数を示す。

Ⅲ. 「共通専門科目群」 47単位以上																
系列	設計・計画		住宅・都市・歴史		構造力学		一般構造		生産		環境		設備		技術者倫理・建築法規	
	7単位以上		12単位以上		6単位以上		6単位以上		6単位以上		4単位以上		2単位以上		4単位以上	
必要単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
1	図学	2	建築概論	2	静定構造力学Ⅰ	2	建築構法	2								
2	基礎製図学及び演習	2			静定構造力学Ⅱ	2	木質系構法	2			環境工学概論	2			建築技術と社会・自然	2
3	設計製図Ⅰ	3	住宅計画 アーバンデザイン 西洋建築史 建築計画総論	2 2 2 2	不静定構造力学Ⅰ	2	防災工学	2 2			音・光環境	2				
4	設計製図Ⅱ	3	現代ハウジング 現代都市計画 近代建築史	2 2 2	不静定構造力学Ⅱ	2			建築材料Ⅰ	2	熱・空気環境	2				
5							構造計画	2	建築材料Ⅱ 建築生産システム	2 2			建築設備概論	2		
6									建築施工	2			建築設備各論	2	建築行政	2

Ⅳ. 「コース別専門科目群」 33単位以上																
講義科目																
系列	設計・計画		住宅・都市・歴史		構造力学		一般構造		生産		環境		設備		共通	
	8単位以上								4単位以上							
必要単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
3	芸術史概論	2														
4	デザイン構成論 建築計画各論	2 2														
5	建築デザイン論 色彩論	2 2	人間工学 都市・都市計画史 日本建築史	2 2 2	コンクリート構造 鋼構造 建築基礎構造	2 2 2					応用環境工学	2			2	
6	インテリアデザイン	2														
7,8			居住環境管理論	2					リフォーム工学	2			環境設備計画	2		
実験・実習・演習科目																
系列	設計・計画		住宅・都市・歴史		構造力学		一般構造		生産		環境		設備		ゼミナール等	
	12単位以上								3単位以上						6単位以上	
必要単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
1	造形演習	2			静定構造力学演習Ⅰ	1		1								
2					静定構造力学演習Ⅱ	1										
3	造形応用演習	2			不静定構造力学演習Ⅰ	1										
4	建築計画及び演習	2			不静定構造力学演習Ⅱ	1										
5	設計演習Ⅰ 設計演習Ⅱ	2 2	都市計画及び演習	2					材料実験	2						
6	設計演習Ⅲ 設計演習Ⅳ	2 2													ゼミナール演習	2
7,8	設計演習Ⅴ	2							測量学・実習	2					卒業研究・卒業設計	4

注：1 編入学等で修得した科目は、本学科の科目に読みかえてカウントする。読みかえできない科目は、その都度判断する。

2 共通専門科目群の各系列で履修単位数が必要単位数を超えた場合には、各系列2単位(講義科目)に限り、合計6単位まではコース別専門科目群の同一分野の履修科目と認める

## 卒業の要件

本学部を卒業するためには、4年間以上在学し、次の共通教養科目・外国語科目・基礎科目および専門科目の単位を修得しなければなりません。取得可能学位は、学士(工学)です。

	履 修 方 法	卒業に要する 最低単位数
共通教養科目		14単位以上
外国語科目	英語 10単位 以上修得のこと。	14単位以上
基礎科目		12単位以上
専門科目	必修科目、選択必修科目および選択科目の修得単位数は学科により異なります。「学科別の専門科目の所要単位数」(次頁)を参照のこと。	84単位以上
合 計		124単位以上(注)

注 共通教養科目(14単位以上)、外国語科目(14単位以上)、基礎科目(12単位以上)、専門科目(84単位以上)を修得し、共通教養科目、外国語科目、基礎科目、専門科目を合計して124単位以上修得のこと。